

チャレンジNo.4

資源として活用！



10年ほど前まで、旧大館・田代・比内の3市町で無償貸与したコンポスター。家庭から出る生ごみを堆肥にして活用するために、たくさんのかたに利用していただきました。最近、自宅の庭などに放置されたりしていませんか？せっかくあるのに使わない手はありません。もう一度、コンポスターの利用を見直してみしましょう。

コンポスター

の使い方

ステップ①

コンポスターを設置する

庭などに、深さ10cm程の穴を掘って、コンポスターを埋める。水はけの良い場所を選んでください。

ステップ②

床を作ってみよう

設置したコンポスターの床に、取り草や落ち葉、もみ殻などを敷いてください。こうすることで、地中の微生物の活動が活発になります。



ステップ③

生ごみを入れてみよう

床が出来たら、いよいよ生ごみを投入して堆肥を作ってみましょう。

注意することは、生ごみの水分を十分に切り、出来るだけ細かくして投入すること。水分が多いとうまく分解されず、腐敗してしまいます。

生ごみが数cm程度の厚さになったら、乾燥した土や取り草、落ち葉などを全体に振り掛けます。生ごみと土などでサンドイッチ状にすることで分解が進み、黒っぽい土のようになります。堆肥が出来上がります。

ステップ④

堆肥として使ってみよう

出来上がった堆肥は、そのまま使うことも可能ですが、水分が多く、生ごみのおいが残っているの、土と半々に混ぜて2〜3カ月寝かせて発酵させると、さらに良い堆肥になります。家庭菜園や草木などに少量ずつ混ぜて使ってみましょう。



出来た堆肥を使って 家庭菜園を楽しんでいます

小松 富紀子さん
(扇田地区・南町)

最初は、庭に生ごみを置いて堆肥化していたんですが、においは気になるし、カラスにはいたずらされるので、コ

ンポスターを使うようになりました。使い始めてもう7年以上になりますが、本当に重宝しています。細かく考えず、あまり労力を掛けずに、続けていくことが長続きさせる方法ですね。

出来上がった堆肥は、家庭菜園に利用して、サヤエンドウやキュウリ、トマト、昨年とってもおいしかった小玉スイカなどを栽培しています。

家庭から出た生ごみを堆肥にして土に返し、野菜を収穫する。野菜くずはまた堆肥にと、家庭内で循環させることが出来るんです。もったいない精神を持つことが大切ですよ。

身近なところから 始めてみませんか

これまで、いろいろな事例を紹介してきましたが、ごみの減量は、どの市町村でも取り組まなくてはならない課題の一つです。

皆さん一人ひとりが、生活の中でごみの減量に取り組むことで、資源や環境を守る手助けになります。また、処理に係る経費も抑えられる、他の事業に有効に使うことも可能となります。

いつもの水切りよりも1回多くするだけで、効果があります。身近なところから、また手軽に出来ることから始めてみませんか。

R R R

リデュース リユース リサイクル

ごみの量を減らそう・繰り返し使おう・資源として活かそう